



# 大和文化センターだより

令和3年11月1日発行  
三原市大和文化センター  
三原市大和町下徳良111  
TEL 0847-33-1115 (FAX兼用)

11月



## 主催講座の紹介



### 「池坊 花を暮らしに」



池坊の歴史や生け方のスタイルを学びながら、季節の花を生けて楽しんでいます。和気あいあいと楽しい雰囲気の中にも、しっかりと池坊の心を学んでいきます。

### 「暮らしを彩る初めてのクラフト」



講師から組み方の説明を聞きながら、完成を目指して一生懸命に取り組んでいます。初心者でも楽しんで作れる「和風バッグ」や「フリルかご」に挑戦しています。

## ロビーの展示のお知らせ



【 桂林の人たち 】



【 バラ 】

大和町出身・久井町在住の尾藤賢治さん（日本水彩画会所属東広島支部長）の水彩画作品を特別展示として、ロビーに令和4年3月末まで常時展示しております。芸術にふれあう機会として、是非ご来館いただきご鑑賞ください。



# 伝統文化にふれてみませんか



日時 令和3年11月27日(土) 13:00～17:00…生けこみ  
 令和3年11月28日(日)～11月30日(火) 9:00～17:00…池坊いけばな展  
 令和3年11月28日(日) 13:00～13:40…三味線和太鼓演奏

場所 三原市大和文化センター ホワイエ  
 三原市大和町下徳良 111 番地 ☎0847-33-1115



## 大和の農業遺産

## 「義民 岩門政次之墳」の碑について考える

三原市大和町和木、東側にある丘陵に開墾地がある。その開墾地の一角に、高さ1.4mの自然石の碑が建っている。碑の表面に義民岩門政次之墳とあり、右側面には、文政3年辰正月23日卒とある。さらに左側面には施主和泉庄助と刻してあり、一般農民が墓らしい墓を持たない当時のものとしては、実に立派な墓石である。これまでに関係文献史料は一切発見されておらず、地元の人々は「相撲取り墓」と呼んで、相撲取りを弔った墓だとか、大飢饉の時「代官田から米をもらって飢えた人々を救った政じゅうという立派な方の墓」だとか語り伝えられており、伝説の域をでていない。被葬者の命日に卒(しゅつ)とある。卒すとは、広辞苑によると「4位・5位の人か死ぬ。中国では太夫の死をいう」とあるので、一般農民ではなく位官のあった人と思われる。命日文政3年といえば、1820年11代將軍家斉、老中水野忠邦の時代である。この時代は、天明大飢饉があり、この頃から幕末にかけて百姓一揆が激増していった。ここ和木原一帯の往時の農民の暮らしは、過酷な貢納(こうのう)、天災や飢饉をまぬがれることはできなかったにちがいない。そうした時代を義民といわれる岩門政次が、どう生きたのだろうか。一揆の指導者か、飢饉の救済者かは分からない。厳しい幕藩体制の中で、武士の目をはばかって村はずれにひっそりと相撲取りの墓として葬られたとも言われている。「昭和初年の頃まで、地元民が墓を起こすと必ず官憲がやって来て突き倒した。」と言われる。ここ大和町和木にある義民碑のわずかの碑文が、私たちに何を語りかけているのだろうか。この義民碑に対して自らの考え、解釈を広げ、異説の世界を自ら構築していくことができれば、郷土の歴史的物事象が、より身近なものになるのではないだろうか。



【義民 岩門政次之墳】

☆広島県立文書館文書調査員 井長整次さんの「義民 岩門政次之墳」の碑考より一部引用

## 大和図書館からのお知らせ

- 11月の休館日  
 毎週火曜日 2日、9日、16日、23日、30日  
 祝日 3日(水)



- 11月の展示  
 「おしゃれを楽しむ本展」【11月1日(月)～29日(月)】  
 11月29日(月)のいい服の日になんで、ファッションなどに関する本を展示します。  
 「お仕事小説本展」【11月10日(水)～29日(月)】  
 警察官やシェフなど、様々な職業の主人公が登場する小説本を展示します。

- 絵本とおはなしの時間  
 日時 11月7日(日)  
 時間 14:00～14:20  
 人数 5組限定  
 日時 11月13日(土)、20日(土)、27日(土)  
 時間 10:40～11:00  
 人数 5組限定



※参加される方は、「広島県コロナお知らせQRコード」の読み取りをお願いいたします。